

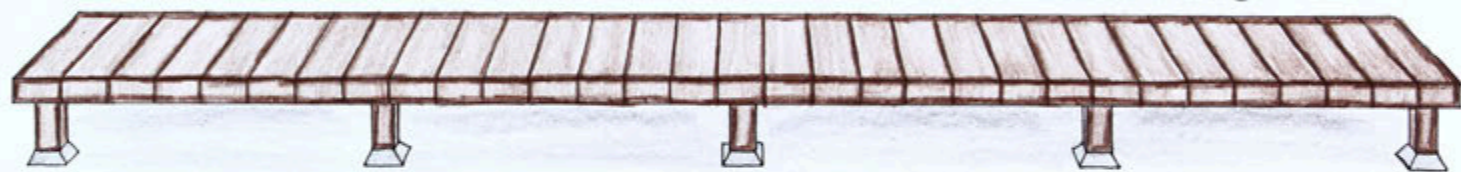
現在の社会問題

- ・スマートフォンの普及・・・他人とつながるツールとしてはSNSが主流となり、人と話すことが少なくなった。
- ・若者の家外に出る回数の減少・・・子供達が外で遊ぶことは減り、ゲームなど家で遊ぶことが増えた。
- ・核家族世帯の増加・・・子供と高齢者との関わりが減少した。

地域のつながりは、
日常生活や災害が
発生した時でも、重要な
役割をはたすので、もっと
地域のつながりを強めて
いきたい。

そこで!!

渡り縁側



この渡り縁側により、子供は外で元気に駆け回り、
大人たちは地域の人々と気軽に会話するようになる。



地域に住む子供、大人、高齢者が互いに関わり合い、
つながりの強い活気あふれる地域になる。



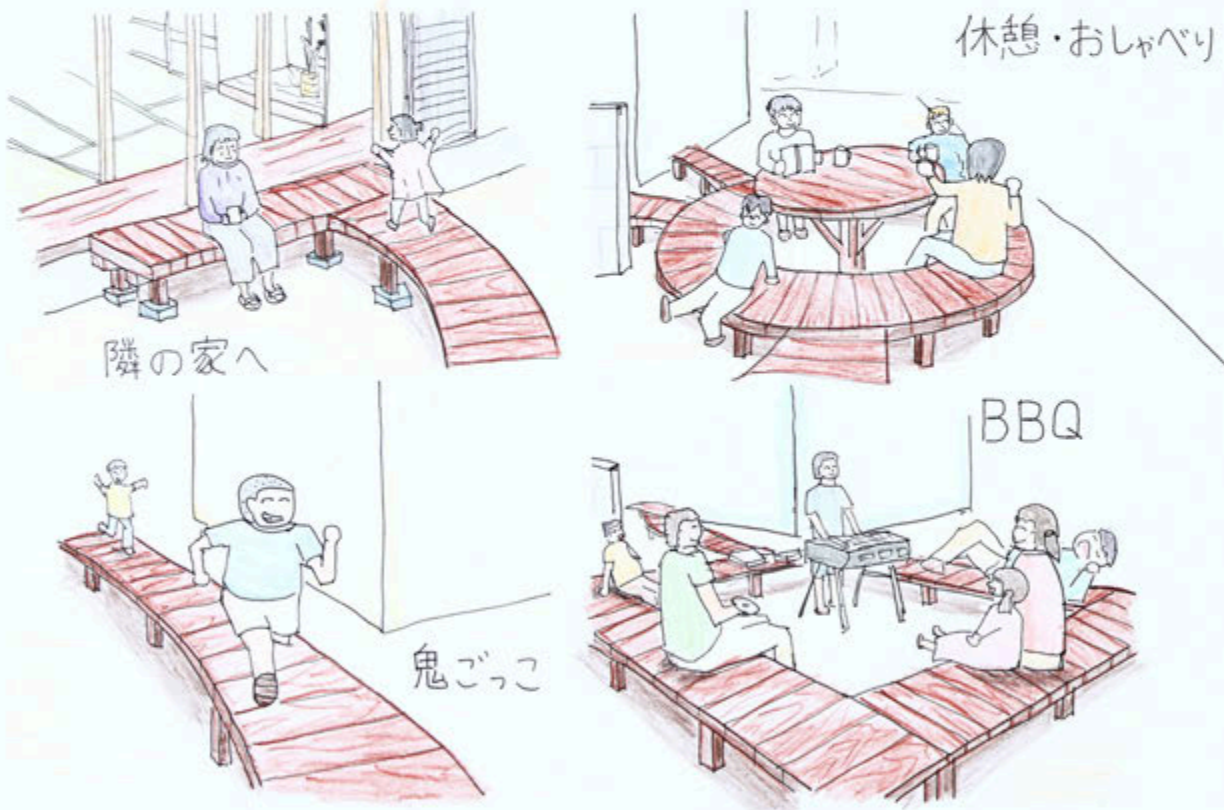
そうした地域では様々な問題に対応できる。

- ・子育てや介護などが大変でも、その地域の人たちが互いに手助けできる。
- ・災害などの緊急時でも地域の人たちが協力し合い、被害を最小限にできる。

人々は自分達の
地域を好きになり、
地域の人々とのつながりが
強まり、こうした未来になる。

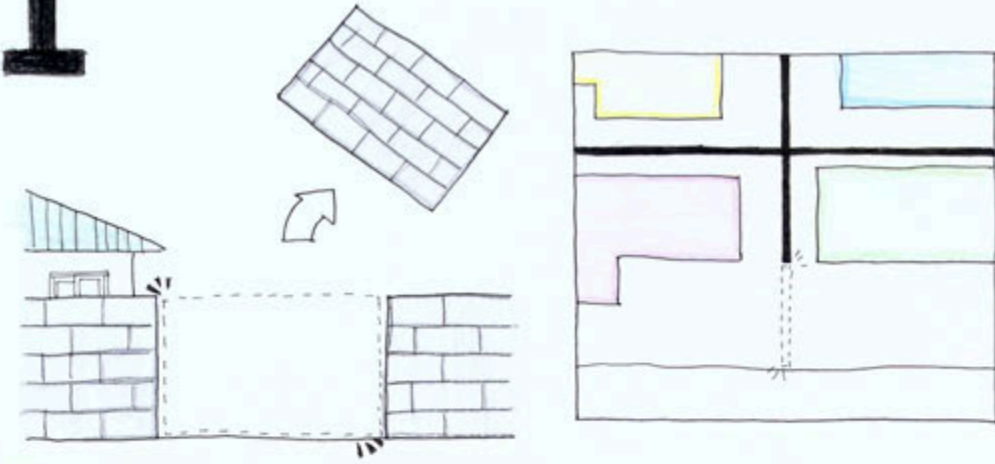
方法

日本の和風家屋の特徴の一つである縁側は、内と外をつなげる役割がある。外の空気を感じながら憩うことができ、コミュニケーションの場ともなっている。そこで住宅と住宅を切り分けている塀を取り除き、縁側を住宅同士でつなげる。縁側を共有することで、住民同士の交流が深まり、地域のつながりも強まる。



お隣さんへ訪ねる、交流スペースで憩う。
用途はさまざま、住人同士の交流が深まり
地域のつながりが強くなる。

1

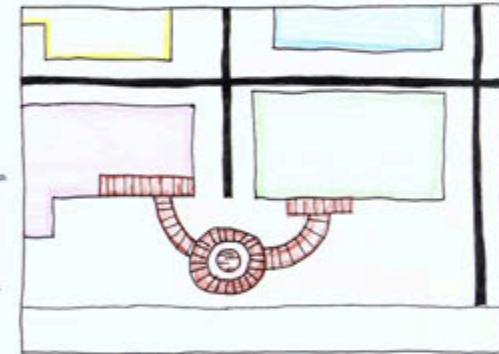


住宅と住宅を隔てている塀の一部を取り除く

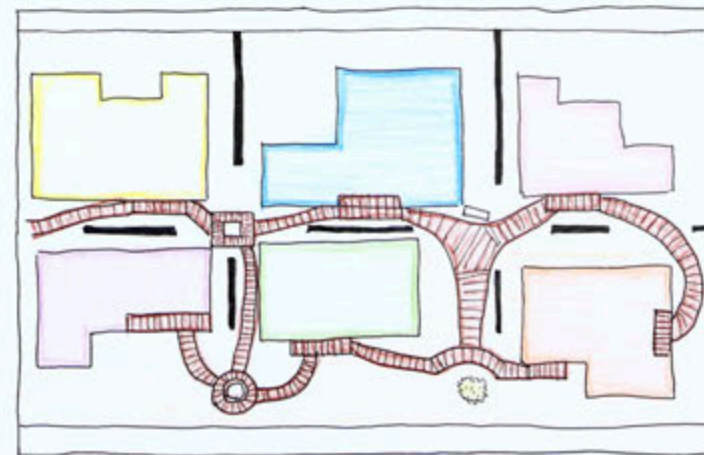
住宅と住宅を縁側でつなげ中心付近に交流スペースを設ける。縁側は、両住宅の縁側とつなげる。縁側がない場合、大きな開口部とつなげる。



2



3



隣、そのまた隣へと縁側をつなげていく。
そして地域全体が縁側によってつながれる。